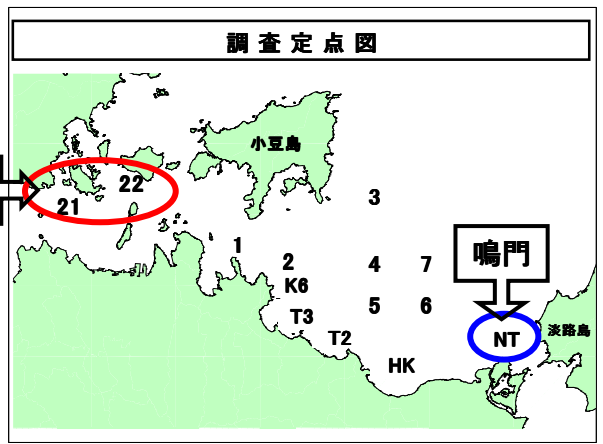


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2010. 10)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



調査方法

調査日: 10月5日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点

(調査定点図参照)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.10.2	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	0				0.5	-
2008.10.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
2009.10.5	0	0	0	1	0	11	0	4	2	1	0	0	0	0	1.7	1.4
2010.10.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

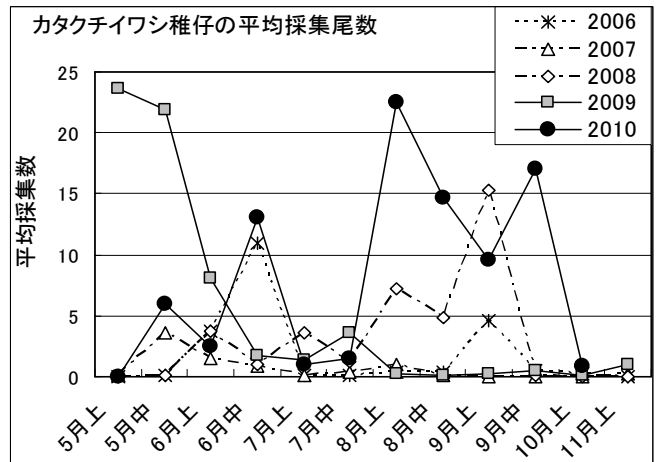
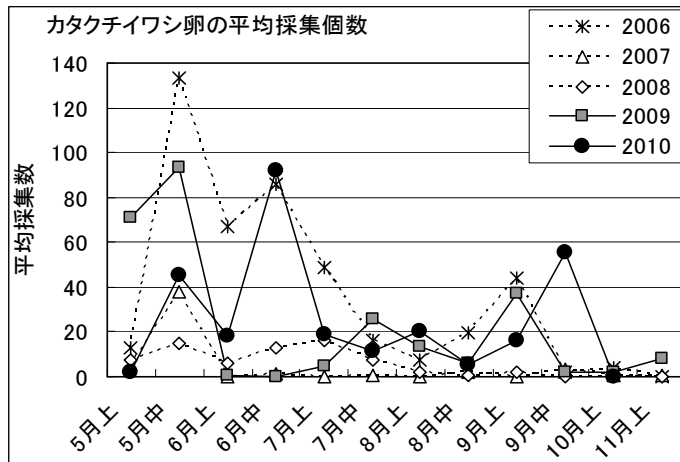
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.10.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0.0	-
2008.10.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
2009.10.5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0.2	0.1
2010.10.5	0	3	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0.6

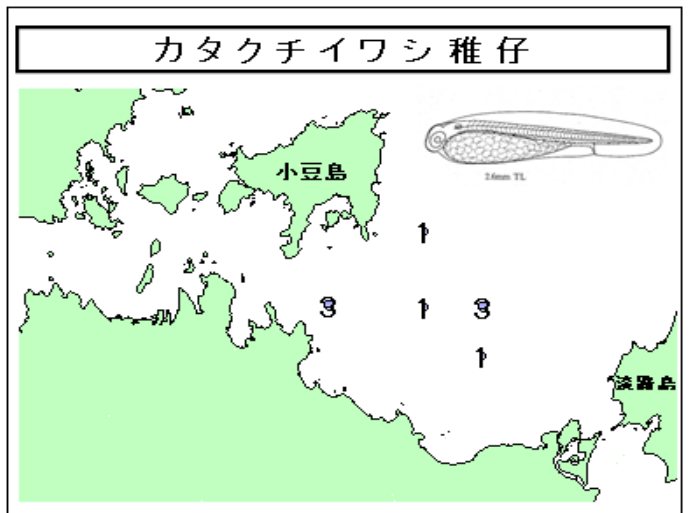
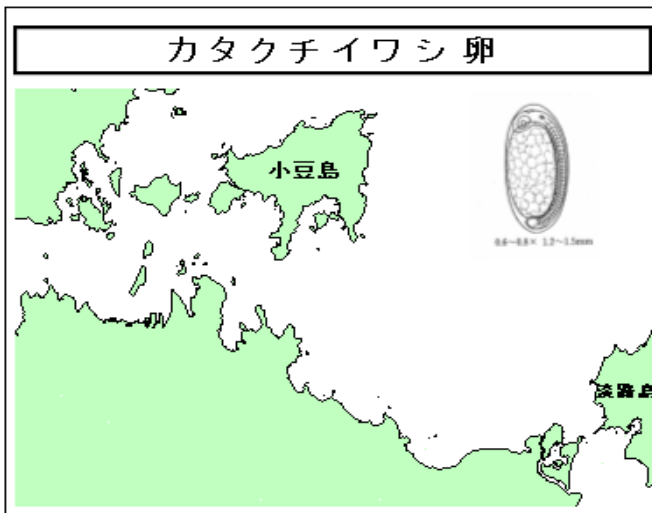
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。

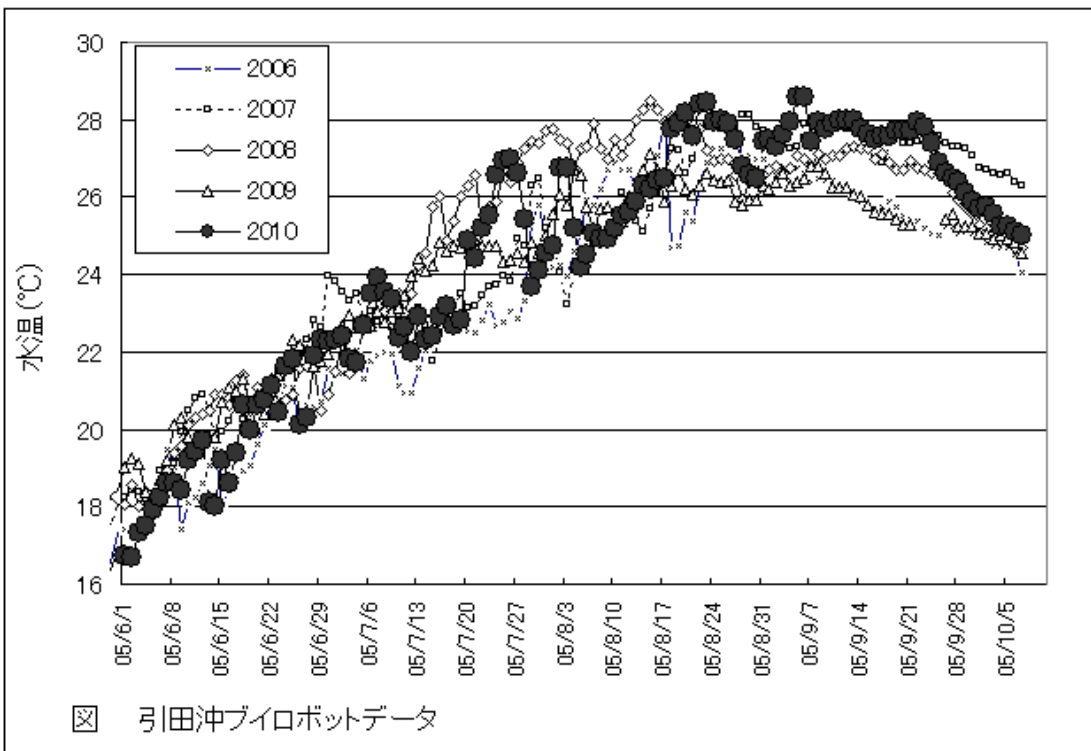
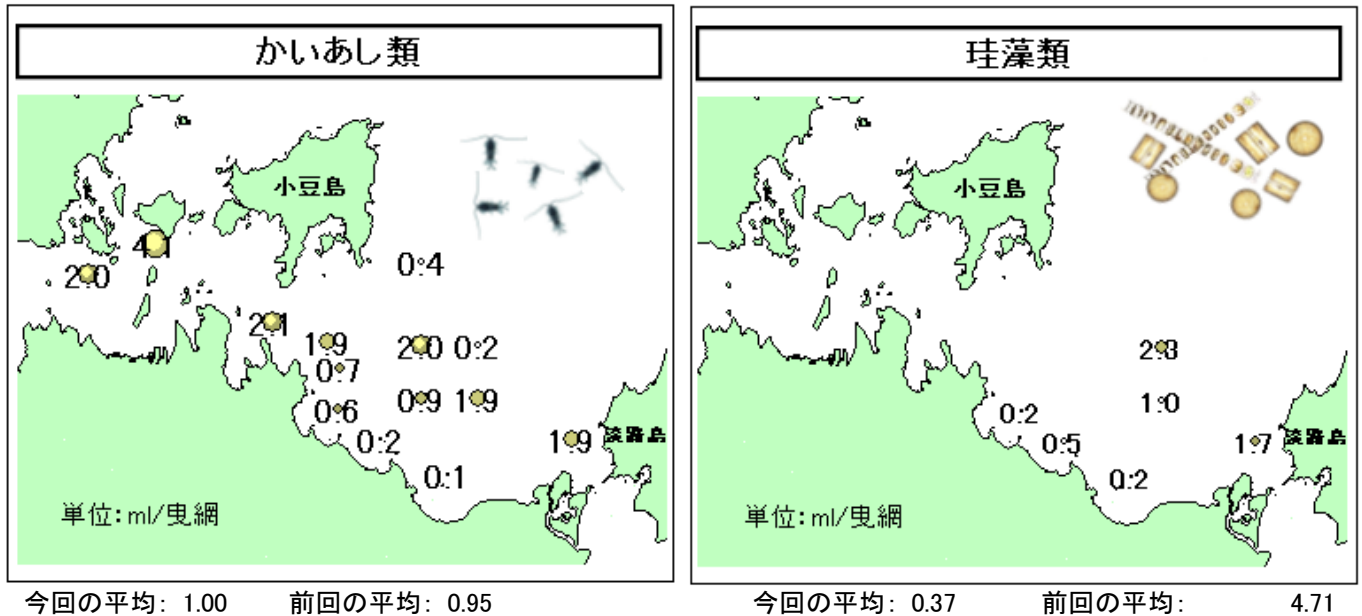


* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は0個となり、昨年同時期を大幅に下回った。
 一方、稚仔の出現は平均で0.8尾となり、昨年同時期を上回った。稚仔の出現は沖合で出現し、沿岸部では出現しなかった。
 引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、9月以降の水温はかなり高めから平年並みで推移している。
 餌料生物として重要なかいあし類は、11点の平均は1.0mL/曳網とほぼ前回並みであった。
 カタクチイワシの成魚であれば利用可能な珪藻類は、今回0.37mL/曳網と前回の約8%と少なかった。

【参考】



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。